(5)その他異常の場合

異常内容	確認事項	対処方法
リモコンがきかない	操作したい回路を選択していますか	リモコンの「切替」ボタンを連続操作し、操作範囲画面で、回路を選択してください。
	電池は十分ですか。	液晶画面の表示が薄く表示されるようになったら乾電池を交換してください。
照明器具が点灯しない	照明器具の電源は入っていますか。	照明器具の電源を入れてください。
	消灯操作してませんか。	リモコンの 自動・点灯 ボタンを押してください。
照明器具が調光しない	調光信号線が確実に接続されていますか。	調光信号線を確実に接続してください。
	調光率が正しく設定されていますか。	調光率設定を再度実施してください。
	照度センサが汚れていませんか。	照度センサをきれいに清掃してください。
色温度制御の光色が逆である	調光信号線の接続先は合っていますか。	器具照明1に昼白色、器具照明2に電球色を配線してください。
通信ができない	極性および終端は合っていますか。	極性および終端を確実に実施してください。

上記確認した後に尚、異常がある場合は、直ちに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。

(6)その他不明点は、弊社ホームページ「MILCO.Sのよくある質問はこちら」より、Q&A集を参照してください。

12 保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

1.保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

2.無償保証期間及び範囲

●据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。
ただし、3項に記載する使用方法による損傷や故障については、保証期間内であっても支給、修理は有償となります。

●無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店にご相談ください。

●本機の修理用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

3.保障期間内でも次の場合には有償修理になります。

（a）使用範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合
（b）改造した場合
（c）操作方法、調整、定期点検が不備なことによる事故、損傷、故障の場合
（d）据付け場所不備による事故、損傷や故障の場合
・化学薬品及び強電界等の特殊環境条件。
・結露・塩害等
（e）据付け工事に不都合がある場合
・据付け工事中取扱い不良のための事故、損傷や故障の場合。
（f）火災、地震、風水害、落雷その他天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
（g）本機事故に起因した営業保証等の2次保証はいたしません。
（h）その他、据付け、操作、調整、保守、取扱上常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。

4.本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

5.この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

連絡先 三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社 ☎(0467) 41-2729 （営業本部）
☎(0467) 41-2773 （品質保証部サービス課）

MITSUBISHI ELECTRIC

保管用

E769C139G02
E769C139H23

三菱照明制御器

MILCO.S コントローラ

形名 **MS681,** 公DS1-A **MS682,** 公DS1-AN,DS1-NT **MS681S,** 公DS1-A **MS682S** 公DS1-AN,DS1-NT
MS683S, MS684S

施工・取扱説明書(施工者向け)

このたびは三菱照明制御器をお買上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は三菱照明制御器「MILCO.Sコントローラ」の施工及び取扱いについて記載しております。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
●お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
●お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設、修理の時は工事される方に、またお使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
●本機はワイヤレスリモコン(MS213)と組み合わせて使用します。MILCO.S以外のシステムと組み合わせての使用はできません。
またMS682、MS682Sは人感センサ(MS121A)を増設することができます。
●本機はワイヤレスリモコン(MS212)と組み合わせて使用できますが、機能が限定されます。

1 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠注意 ⚠警告 の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつくもの	
改造、修理は絶対しない。 (改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。)	据付けは重量に十分に耐える所に確実に行う。(強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。)
本機のすき間や穴に金属類を差し込まない。 (感電、火災等の原因になります。)	据付工事は、この取扱説明書に従い確実に行う。 (据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。)
電源を入れたまま本機のお手入れをしない。 (感電の原因になります。)	電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。(電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。)
本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりして使用しない。(火災の原因になります。)	
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。(お客様自身で据付工事をされ不備があると感電、火災等の原因になります。)	適合の電源線を指定長さに被覆を剥がし、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む。(差し込み不十分は接触不良により感電、火災等の原因になります。)

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財等の損害に結びつくもの	
信号線端子台に〈AC100V等〉の電源線を接続しない。 (感電、火災の原因になることがあります。)	表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 (感電、火災の原因になることがあります。)
可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 (万一ガスが漏れて本機周囲に溜まると発火の原因になることがあります。)	乾燥不十分なクロス貼り、コンクリート面には据付けない。 (絶縁不良やさびにより感電、落下の原因になることがあります。)
電源を入れたまま本機のお手入れをしない。 (感電の原因になることがあります。)	当社信号制御連続調光用器具以外は使用しない。 (器具が過熱して火災の原因になることがあります。)

異常時の処置 ⚠警告	煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切る。 (感電、火災の原因になります。) 煙が出なくなるのを確認して、お買上げの販売店にご相談ください。

2 現地手配部品

据付けには下記のものが必要です。現地にて手配してください。

接続電線	種　　類
電源線	VVF3　Φ1.6~2.0mm
通信線、終端線	CPEV,FCPEV　Φ0.9~1.2mm　1P
調光信号線	CPEV,FCPEV　Φ0.9~1.2mm　1P （色温度制御用照明器具の場合は2Pも使用可能です。）
外部人感センサ信号線(MS682,MS682Sのみ)	CPEV,FCPEV　Φ0.9~1.2mmまたは
接点信号線	AE2　Φ0.9~1.2mm

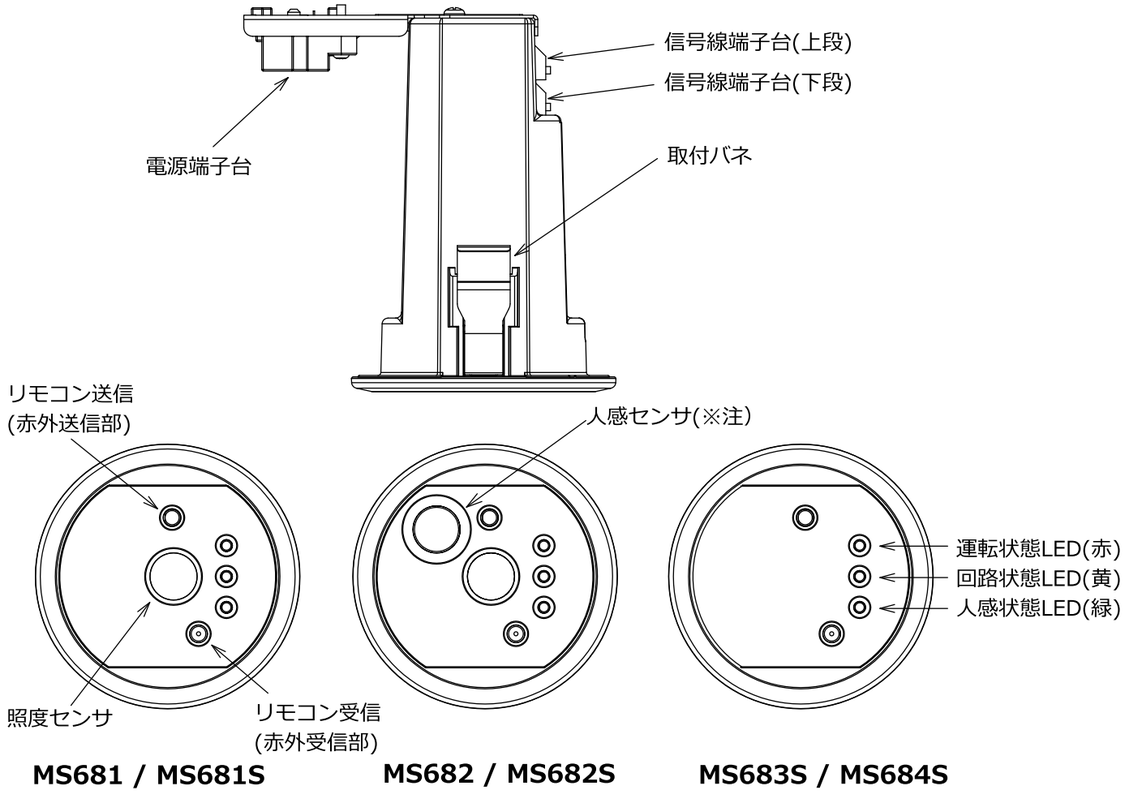
外部人感センサを接続する場合や、分岐配線をする場合は[絶縁被覆付閉端接続端子]（CE2、JIS C 2807）等を手配してください。

3 付　属　品

・取扱説明書(本誌)
・遮光シール
　(MS681,MS682,MS681S,MS682Sのみ付属)

[遮光シールの形状]

4 各部の名称と外形図



（※注）　MS682 / MS682Sの人感センサ付コントローラは人感センサに衝撃や圧力が加わると故障の原因になりますので取扱いに注意してください。

10 仕　　様

項　　目	MS681	MS682	MS681S	MS682S	MS683S	MS684S
定格電圧(定格周波数)	AC100V~AC254V(50Hz/60Hz)					AC100V~AC200V (50Hz/60Hz)
消費電力	5 W	6 W	5 W	6 W	5 W	10W
使用環境	温度：5 ~35℃　　湿度：85%以下結露しないこと					
照度センサ	1	1	1	1	0	0
人感センサ	0	1	0	1	0	0
LED器具(電源)制御台数 ※1	72台					144台
調光範囲	調光率5～100%及び消灯(調光率0%) 調光範囲については、接続される照明器具により異なります。					
スケジュール	なし		あり			
コントローラ接続台数	–		最大10台(アドレス1~10)			
無線LANユニット接続台数	–		最大5台(アドレス11~15)			
時計精度	–		月差　±30秒			
本体材質	PC＋ABS樹脂(白)					
使用場所	屋内(但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所)					
質量	0.3kg					

※1：端子台の器具照明1と器具照明2の合計台数です。

・照度センサに汚れが付着すると感度が落ち、調整された照度が得られなくなります。
　定期的に乾いたやわらかい布などで傷つけないよう軽く拭いてください。(MS681,MS682,MS681S,MS682Sのみ)
・人感センサに汚れが付着すると検知性能が低下します。定期的に乾いたやわらかい布などで傷つけないように軽く拭いてください。(MS682,MS682Sのみ)
・人感センサがまれに突発的ノイズ、熱及び振動や衝撃により動作することがありますが、故障ではありません。
　よって人感センサは高い信頼性または監視などの用途には適していません。
・MS681S,MS682S,MS683S,MS684Sでスケジュールを運転する場合は定期的に時計確認と時計がずれている場合は時計設定を行ってください。設置後1ヵ月を目安に時刻がずれている場合は内蔵時計の時計補正を実施してください。時計補正は±1ppm単位（約2.6秒/1ヵ月）で設定できます。時計補正方法はワイヤレスリモコン(MS213)の取扱説明書をご覧ください。
　1週間以上電源が供給されない場合は内蔵の時計がリセットされて、初期設定の「2013年10月21日0:00」の状態になりますので復電後に内蔵時計の時計設定（コントローラ時計合せ）を実施してください。

11 点　　検

(1)運転状態LED(赤)は下記内容を示します。

点灯状態	動作状態
消灯	未通電状態
点灯	自動制御
点滅(1秒おき)	マニュアル運転
間欠点滅(2秒点灯、1秒消灯)	スケジュール運転
点滅(0.1秒おき)	設定操作中
点滅(0.1秒点灯、0.1秒消灯、0.1秒点灯、0.7秒消灯)	メモリ異常

(2)回路状態LED(黄)は下記内容を示します。

点灯状態	動作状態
消灯	正常
点滅(1秒おき)	ランプ異常 (設定照度率に満たない場合)
点滅(0.1秒おき)	ゲイン設定エラー (自動調光の範囲を超えてます。)
点灯	出力(調光信号出力)が短絡しています。

(3)人感状態LED(緑)は下記内容を示します。

点灯状態	動作状態
消灯	不在検知状態
点灯	在検知状態

※点灯を確認することによって、検知エリアを確認することが、できます。

(4)動作に異常がある場合の点検及び対処方法

点灯状態	対処方法
赤LEDが消えている場合	コントローラの電源を確認してください。
赤LEDが点滅(0.1秒点滅、0.1秒消灯、0.1秒点滅、0.7秒消灯)を繰り返す場合	メモリ異常です。 「コントローラのリセット」をリモコンで実施後、感度設定を実施してください。
黄LEDが点灯している場合	調光信号が短絡しています。配線を確認してください。

9 設定操作項目と初期値

(1)簡単設定情報

目標照度　　500 lx

調光出力ﾓｰﾄﾞ　　個別制御　タイマー制御回路1：切　タイマー制御回路2：入

(2)通常・シーン情報

	項　　目	通常	シーン1	シーン2	シーン３	シーン４	シーン5	シーン6
1	照度センサ	入	入	入	入	入	入	入
2	目標調光率(回路1)	50%	75%	10%	10%	10%	10%	10%
	目標調光率(回路2)	50%	75%	10%	10%	10%	10%	10%
3	目標照度	500 lx	750 lx	100 lx	100 lx	100 lx	100 lx	100 lx
4	上限調光率	71%	100%	15%	15%	15%	15%	15%
5	下限調光率	25%	25%	5%	5%	5%	5%	5%
6	フェードイン時間	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒
7	フェードアウト時間	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒
8	人感センサモード	切	切	切	切	切	切	切
9	不在調光率	25%	25%	25%	25%	25%	25%	25%
10	人感センサ保持時間	300秒	300秒	300秒	300秒	300秒	300秒	300秒
11	不在フェード時間	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒	10秒
12	OFFディレー時間	300秒	300秒	300秒	300秒	300秒	300秒	300秒
13	色温度	5000K	5000K	5000K	5000K	5000K	5000K	5000K

(3)運用情報設定

	項　　目	初期値
1	感度設定モード	簡単
2	昼白色LED色温度	5000K
3	電球色LED色温度	3000K
4	昼白色LED光出力	2400lm
5	電球色LED光出力	1900lm
6	接点機能切替	シーン(入力)
7	初期照度	1000lx
8	初期照度補正時間	60,000時間
9	初期照度補正調光率	70%
10	運転経過時間	0時間
11	人感センサオフセット	センター128　幅100
12	人感センサ検知条件	350ms　2回
13	人感センサ照度設定	切
14	アドレス	0
15	グループ	0

	項　　目	初期値
16	ブザー	入
17	昼光補正	100%
18	異常表示	入
19	調光周波数切替	1KHz
20	調光信号Duty設定	90.5%
21	チャタリング設定	25%
22	復電復旧モード	最終状態
23	電力値設定	①1000W　②1000W
24	メニューボタン動作モード	メニュー

(4)優先順位

複数の入力が同時に発生した場合、優先順位は下表のようになります。

優先順位	動作モード
1	リモコン(マニュアル)操作
2	調光器
3	接点2入力(※)
4	接点1入力(※)
5	通常運転、シーン運転、スケジュール運転

(※)は接点2、接点1入力が共にある場合、接点2入力(シーン2の設定)が実行されます。
接点組合せがONの場合、シーン3が実行されます。

5 制御範囲の決め方(重要)

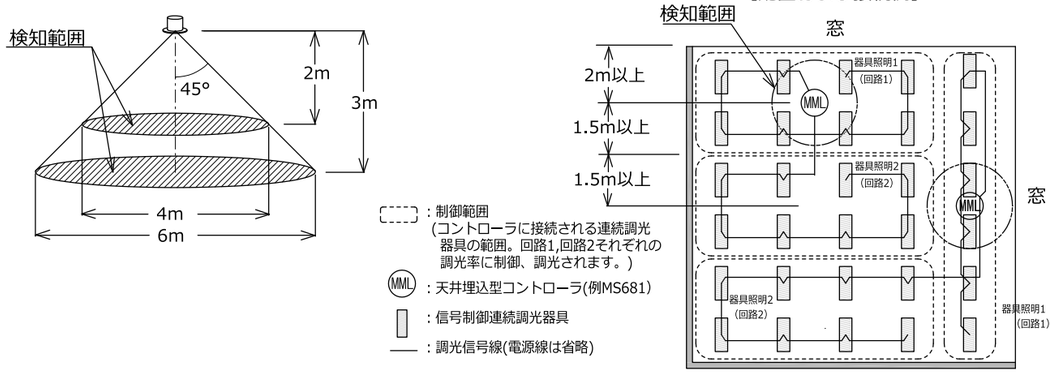
E769C139G02
E769C139H24

本機は天井埋込用コントローラです。取付ける前に本項の制御範囲を十分検討した上で実施してください。

1.照度センサの検知範囲設定(MS681,MS681S,MS682,MS682S)

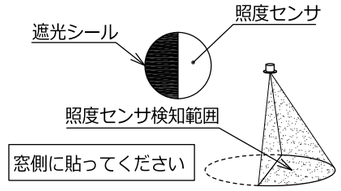
(1)コントローラ1台で、1つまたは2つの制御範囲を制御することが可能です。
1つの制御範囲を制御する場合は、信号線端子台の器具照明1(回路1)に接続してください。2つの制御範囲を制御する場合は、信号線端子台の器具照明1(回路1)と器具照明2(回路2)にそれぞれ接続してください。
(2)コントローラは、制御範囲の平均照度が検出されるように、制御範囲の中央付近に設置してください。
(3)コントローラの設置位置の目安としては、窓から2m、制御範囲の端部からは1.5m以上離した場所に取付けて直射光、窓、ブラインド等が検知範囲に入らないようにしてください。

【配置および接続例】

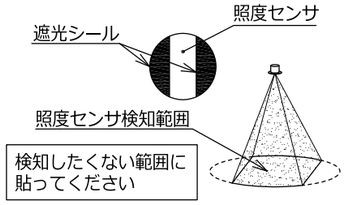


(4)検知範囲の制限の方法(必要な場合のみ)
次のような場合は、照度センサに遮光シール(付属品)を貼り、検知範囲を制限してください。
※遮光シールは必要に応じてカットしてご使用ください。

●取付場所から窓までの距離が2m以内の場合



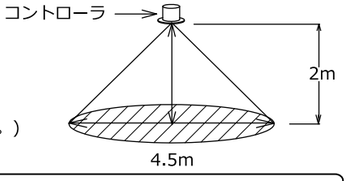
●となりの制御範囲が検知範囲に入ってしまう場合



2.人感センサの検知範囲設定(MS682,MS682Sのみ)

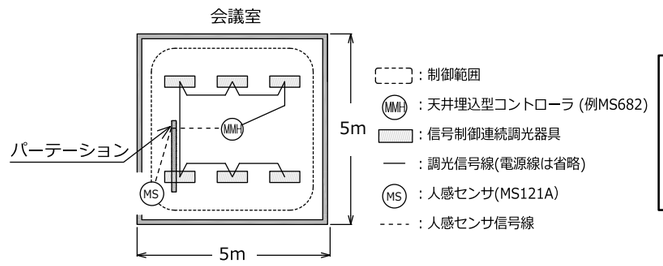
(1)人感センサの検知範囲内に、人が入るような場所に設置してください。
(2)本機に搭載されてます人感センサは感熱型センサです。背景との温度差により動作します。

【高さ2.0mの場合の人感センサ検知範囲】
検知対象の条件
・人体
・背景との温度差が4℃以上
(人の体温が約36℃とすれば、周囲温度32℃以上になると、人を検知しない場合があります。)
・移動スピードが0.3~2.0m/s



動物の移動・エアコンなどの温度や気流の変化によっても反応します。これらのそばに設置されると不在時の動作が正常に行われない場合がありますので、影響のない場所に設置してください。ワイヤレスリモコン(MS213)で人感センサの感度調整ができます。

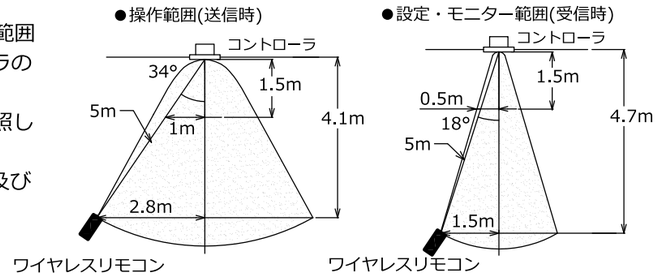
【配置および接続例】



■人感センサは、センサ部から見て扉やパーテーションの反対側は、検知できません。内蔵の人感センサだけで制御範囲がカバーできない場合は、人感センサ(MS121A)を増設(最大12台まで)してください。
■人感センサ(MS121A)の詳細については、別途取扱説明書をご覧ください。

3.ワイヤレスリモコン(MS213)信号の届く範囲と動作確認について

(1)リモコン受信の範囲は、リモコン送信時の範囲より狭くなっています。対象のコントローラの真下での操作をおすすめします。
(右図リモコンの操作・モニター範囲を参照してください。)
(2)コントローラ本体の運転状態LED(赤)点滅及び「ピッ」音で動作を確認します。



6 取付け方法

本機は取付ける前に5項で制御範囲を十分検討した上で実施してください。

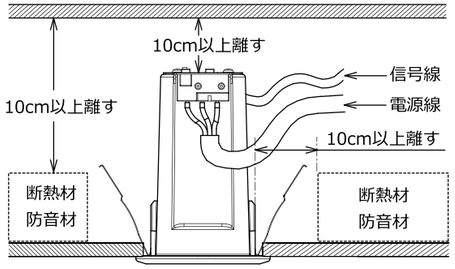
1.取付前の確認事項

(1)器具重量(質量0.3kg)に十分耐えるよう、天井取付部の強度を確保してください。
(2)補強材を入れる場合、天井内で動かないよう固定してください。

⚠警告 本機の重量に耐える所に取付ける。
(落下の原因になります。)

2.天井に埋込穴をあける。

指定埋込穴Φ75mm(+3、-0)であけてください。
(取付可能天井厚さ5mm~20mm)
断熱材・防音材をご使用の場合は、取付条件をお守りください。
(右図参考にしてください。)



⚠警告 断熱施工天井に取付けない。
(火災の原因になります。)

電源線は断熱材・防音材の上側にくるように配線してください。

3.接続電線(信号線・通信線・電源線)を端子台に接続する。

信号線端子台(上段)

橙	灰	橙	灰	青	青	灰	灰	橙	橙
接点1		接点2		器具照明1		調光器		器具照明2	

調光信号線 → LED照明器具2へ ※1
調光信号線 → 調光器へ
調光信号線 → LED照明器具1へ ※1
接点信号線 → 接点2へ
接点信号線 → 接点1へ

信号線端子台(下段)

橙	灰	橙	灰	青	青	灰	灰	橙	橙
通信(コントローラ等)						人感センサ		人感センサ	
入力		送り		終端時短絡					
A	B	A	B						

人感センサ信号線 → 人感センサ
人感センサ信号線 → 人感センサ
終端線(CPEV線)
通信線(CPEV線) ※極性有り → B / A → コントローラ又は無線LANユニットへ
通信線(CPEV線) ※極性有り → B / A → コントローラ又は無線LANユニットへ

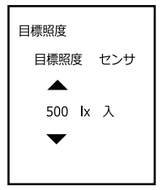
(1)信号線の接続
①信号線は剥き部分が外に出ないよう信号線端子台に確実に差し込んでください。また差し込んだ後には線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。
②照明器具の調光信号線をコントローラの信号線端子台の「器具照明1」「器具照明2」に接続してください。
照明器具は当社信号制御連続調光用器具(別売)をお使いください。
※1:色温度制御で使用する場合、器具照明1に色温度可変器具の昼白色、器具照明2に色温度可変器具の電球色を接続してください。
③信号制御調光器を接続する場合
信号制御調光器(DFP1015B,DFP2015B等)からの調光信号線を信号線端子台の「調光器」に接続してください。
④人感センサを増設する場合(MS682,MS682S)
外部人感センサ(MS121A)からの人感センサ信号線を信号線端子台の「人感センサ」に接続してください。

8 簡単設定操作

1.初期設定を行う。

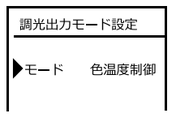
動作確認後、照度センサを使用して自動調光制御を行う場合、または色温度可変照明器具を使用する場合は、必ず「簡単設定」を実施ください。設定及び操作はすべてワイヤレスリモコン(MS213)で行います。
設定及び操作はワイヤレスリモコン(MS213)取扱説明書を確認してください。ここでは、コントローラの最低限必要な設定及び操作について説明します。

(1)感度設定を行う。



①メニュー画面より「簡単設定」を選択します。
②簡単設定画面より「目標照度」の項目でセンサ「入」にしてから、設定したい照度を入力し、決定ボタンを押してから 送信 ボタンを押してください。
③照度計を見ながら②で設定した明るさになるように、「調光率・色温度操作」で調光率を操作します。
④本機をコントローラに向けて「感度設定実行」を選択し、決定ボタンを押し、感度設定を実行します。正常に終了するとブザーが「ピッ」となります。
⑤「照度モニタ」を選択し、受信 ボタンを押し、照度が目標照度と一致していることを確認ください。(数十 lx前後する場合があります。)
簡単設定で目標照度を設定した場合、通常・シーンでの目標照度の設定値は目標照度の約1.5倍の値までしか有効に動作しません。
(例:700lxの場合、約1050lx)
⑥ 戻る ボタンを2回押してメイン画面に戻り、自動・点灯 ボタンを押してください。

(2)色温度制御への切替を行う。(色温度制御を行う場合のみ)

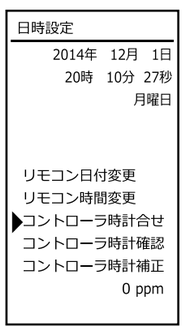


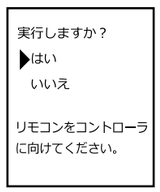
①メニュー画面より「簡単選定」を選択します。
②「調光出力モード」で「色温度制御」を選択ください。
③使用するLEDの色温度範囲が違う場合は、メニュー画面より「運用情報設定」画面を選択し、昼白色LEDと電球色LEDの色温度と光出力を設定ください。詳細はワイヤレスリモコン(MS213)の取扱説明書を参照ください。
※色温度制御は専用の色温度可変照明器具が必要です。
④色温度制御を行う場合は、ワイヤレスリモコン(MS213)で回路1を選択してください。

2.通信機能付きコントローラのアドレス設定を行う。(MS681S,MS682S,MS683S,MS684S)

コントローラ単体で使用する場合は、この設定は必要ありません。
①メニュー画面より「運用情報設定」を選択します。
②運用情報設定画面で「アドレス」を選択します。アドレスが重複しないように1~10を割当てます。
③ポップアップ画面を開き、アドレスを選択し 決定 ボタンを押し画面を閉じます。
④コントローラに向け 送信 ボタンを押すと、コントローラにアドレスが設定されます。

3.コントローラの時刻合わせを行う。(MS681S,MS682S,MS683S,MS684S)





①メニュー画面より「日時設定」を選択します。
②日時画面で「コントローラ時計合わせ」を選択します。
③ポップアップ画面が開きます。「はい」を選択し、リモコンをコントローラに向けて 決定 ボタンを操作してください。
※ワイヤレスリモコン(MS213)は予め「日時設定」画面で日付と時間を設定してください。

⑤外部機器を接続する場合

外部機器の接点から信号線を信号線端子台の「接点1」または「接点２」に接続してください。

接点1および接点2は「入力」または「出力」に切替えてご使用できます。工場出荷時は「入力」に設定されています。

「入力」、「出力」の切替はワイヤレスリモコン(MS213)を使用し、運用情報設定で行います。

■配線長は下記表に従ってください。

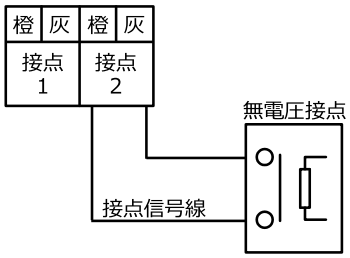
信号線	配線長
調光信号線	Φ0.9mm 100m以内
	Φ1.2mm 200m以内 (信号制御調光器は100m以内)
通信線	Φ0.9mm,Φ1.2mm 100m以内
人感センサ信号	50m以内
接点信号線	50m以内

■各接続電線は動力線、高圧線との近接や束線を行わないでください。
また接続電線と動力線、高圧線が平行する場合の隔離距離は下記表に従ってください。

条　件	距　離
600V以下の低圧動力線	300mm以上
その他高圧動力線	600mm以上

ア.「入力」の場合(タイマ等を接続する場合)

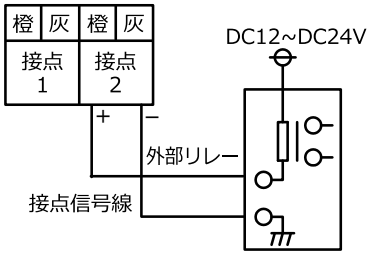
タイマからの信号線を信号線端子台の「接点1」または「接点2」に接続してください。



■推奨接点機器は、三菱電機製TSE1シリーズです。
■接点の仕様は容量DC12V以上で、最小負荷容量が10mA以下の無電圧a接点機器をご使用ください。
■接点入力間で運転の優先順位を設けたい場合は、接点2に優先順位の高くしたいものを接続してください。
■1台の接点機器で複数台のコントローラを接続する場合は、信号線の色を合わせて接続してください。
■コントローラの信号端子は速結式のため渡り配線できません。渡り配線する場合は接点機器の端子台または、絶縁被覆閉端接続子等にて行ってください。

イ.「出力」の場合(外部リレー等を接続する場合)

外部リレーからの信号線を信号線端子台の「接点1」または「接点2」に接続してください。



⚠注意

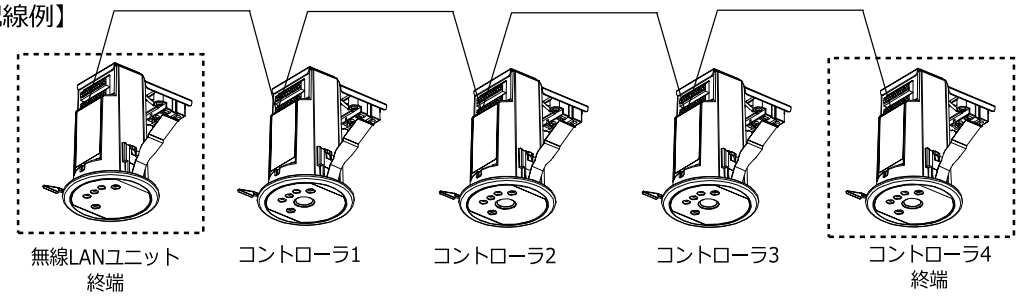
AC100V等の商用電源は直接駆動できません。接続すると故障します。
■定格電圧がDC12V~DC24Vの外部リレーをご使用ください。
■橙に+、灰に－側を接続してください。
■リレーの励磁コイルの定格電流は60mAになるように設計してください。
■外部リレーの並列駆動はできません。
■リレー推奨品：形MY2-D(DC24V)相当、オムロン株式会社製

⑥複数のコントローラおよび無線LANユニットを接続する場合(MS681S,MS682S,MS683S,MS684S,MS2042)

「通信」の「A」「B」の極性を間違わずに通信線を「A」⇔「A」,「B」⇔「B」と送り配線してください。

コントローラおよび無線LANユニットの両端２台にはそれぞれ「終端時短絡」を終端線(CPEV線)で短絡させ、終端処理をしてください。

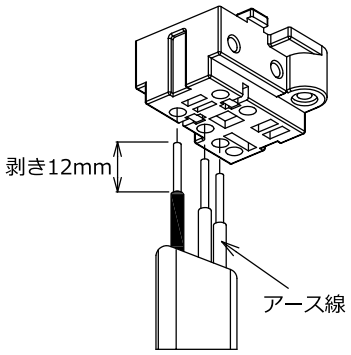
【配線例】



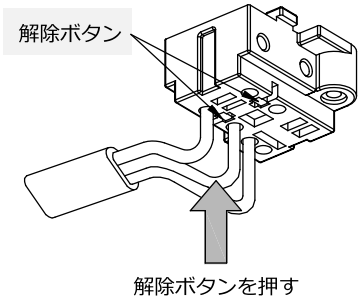
注意

終端処理を行わない場合は通信が不安定になる場合があります。
通信の配線は、必ず送り配線としてください。分岐配線を行った場合または、終端処理が確実に行われていない場合、通信エラーが発生するおそれがあります。

(2)電源線の接続
①電源線は電源端子台の差込穴に確実に差し込んでください。
②アース線は確実に接続してください。



D種接地工事を行ってください。



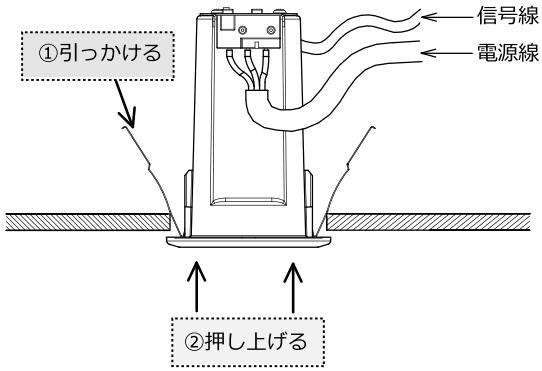
お願い
■電源線を外す場合は、マイナスドライバーで解除ボタン(左図)を押しながら引き抜いてください。
■電源には専用の分岐ブレーカーを用意してください。

⚠警告
電源線は剥き線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。
また差し込んだ後には線を軽く引っ張り十分に差し込まれていることを確認してください。
(差し込み不十分は、接続不良により、感電、火災の原因になります。)

4.埋込穴に入れる
(1)取付バネを天井材に引っかけてください。
(2)右図の矢印部分2箇所をゆっくりと手で押し上げて天井に挿入してください。

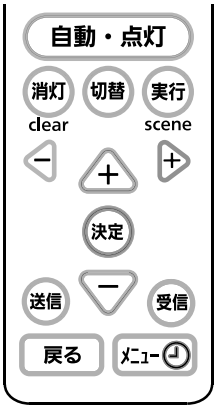
5.埋込穴から外す
(1)本体枠と天井材の隙間に、マイナスドライバーを両側から差し込んでください。
(2)取付と逆方向に引き、天井枠と本体枠に隙間ができたら取付バネを手で押え取り外してください。

⚠注意 むりやり取りはずさない。天井材等を破損する場合があります。



7 動作確認

運転を開始する前に動作確認を行ってください。



(1)照明器具の電源を入れ、制御範囲の照明器具がすべて点灯していることを確認してください。
(2)コントローラの電源線および信号線の接続に間違いがないか確認し、コントローラの電源を入れてください。
(3)運転状態LED(赤)が点灯または点滅していることを確認してください。
※回路状態LED(黄)が点灯している場合は、調光信号線が短絡していないか確認してください。
(4)調光信号線の確認(確認にはワイヤレスリモコン(MS213)を使用します。)
■各回路ごとに ＋ ボタンおよび － ボタンを押して照明器具が明るく・暗くなることを確認してください。
回路の切替はリモコンの 切替 ボタンを連続2回押し、回路1、回路2に切替え、決定 ボタンを押します。
・連続調光用照明器具では各回路に接続された照明器具が調光します。
・色温度可変照明器具では回路1で昼白色が、回路2で電球色がそれぞれ調光します。
(5)人感センサ(MS121A)信号線の確認(MS682,MS682Sのみ接続した場合)
■人感センサ(MS121A)を接続した場合は、人を検知したとき人感状態LED(緑)が点灯することを確認してください。

室内のレイアウトや机などの配置が確定し設置されてから、ワイヤレスリモコン(MS213)の取扱説明書に従って設定操作を行ってください。